

= Match Report =

第104回 全国高校サッカー選手権大会 千葉県大会 準決勝

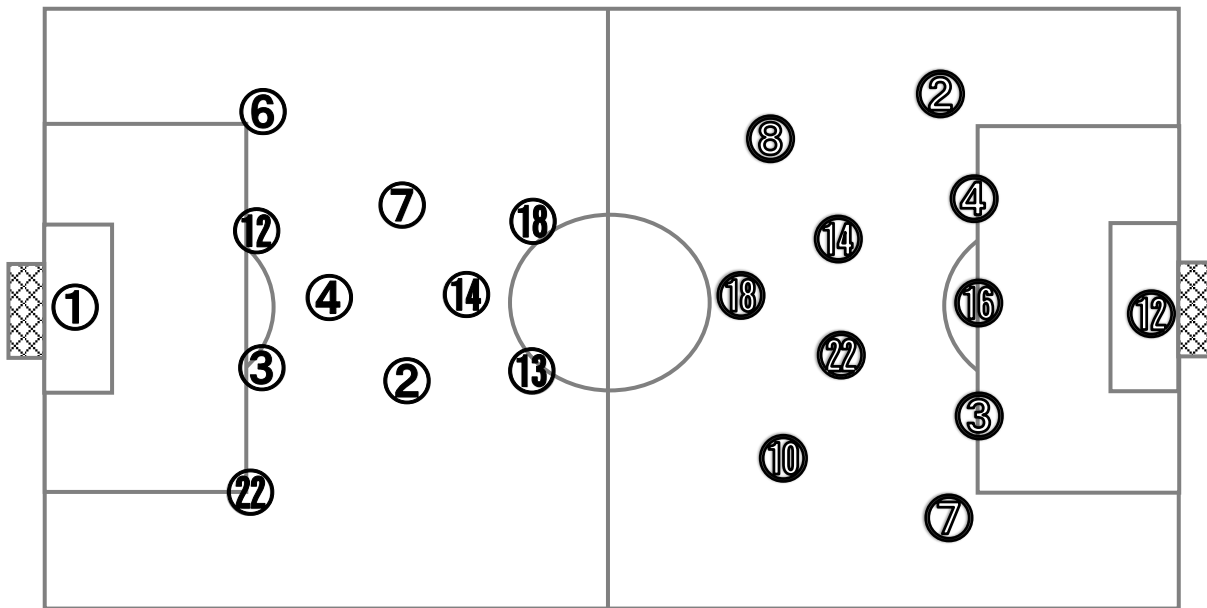
2025年 11月 9日 (日) 10:30 kick off 会場 (柏の葉公園総合競技場)

マッチNo. [M37]

流通経済大学付属柏 高校 (千葉県) vs 市立船橋 高校 (千葉県)

4 3
3001
-
1200
PK

基本システム 1 - 4 - 4 - 2 基本システム 1 - 5 - 4 - 1



【Match Report】

準決勝1試合目は、前回大会で全国決勝へ進んだプレミアリーグ所属の流通経済大学付属柏と同じくプレミアリーグ所属の市立船橋という全国屈指の好カードとなった。流通経済大柏は1-4-4-2システム、対する市立船橋は1-5-4-1システム。

お互い立ち上がりから激しい球際の攻防や、スピーディーな攻守の切り替えで試合が展開される中、早くもスコアが動く。4分、流通経済大柏FW⑬渡辺の相手DF背後へのパスにMF②乙川が反応し、PKを獲得。このPKをMF④島谷が落ち着いて決めて先制。そのわずか2分後、流通経済大柏はGK①藤田からのロングフィードをPA内でFW⑱金子がおさめてシュートを放ち、ポストにあたったこぼれ球を②乙川が押し込み、追加点をあげた。追いかける市立船橋も12分、FW⑧小川のインスイングのFKをFW⑩山本が頭で合わせて1点を返す。早い時間帯に得点が動いたゲームは、両チームともに最終ラインから質の高いロングフィードと中盤での激しいセカンドボールの奪い合いで一進一退の攻防が続く。市立船橋はFW⑱佐々木のスピードを生かし、縦に早く攻撃を仕掛けながら⑩山本や⑧小川の攻撃参加で1点を追いかける。対する流通経済大柏は中盤でのセカンドボールの回収から④島谷とMF⑭古川を中心に、テンポよくボールを動かしながら市立船橋ゴールに迫る。流通経済大柏は22分、CKの流れからこぼれ球をDF⑥増田がPA外で落ち着いてコントロールし、左足を振りぬきゴール右隅に強烈なミドルシュートを決め、リードを広げたまま前半を折り返す。

後半、市立船橋が豊富な運動量と素早い出足からゲームを優位に進める。48分、市立船橋DF③野地の左足からのロングフィードに抜け出した⑱佐々木が落ち着いてゴールへ流し込み1点差とする。流通経済大柏は66分にFW⑲オゲテベとMF⑨山元をピッチに送り込むも、市立船橋の攻勢は続く。72分、⑮勝俣がPA内で倒されPKを獲得し、⑩山本が冷静に右隅に決めて3-3となり延長戦に突入した。

プレミアリーグの高い強度の中で鍛えられている両チームは延長戦に入っても、絶え間ないプレッシングと粘り強い守備で互いにゴールを割らせない。意地と意地がぶつかり合う緊迫した展開となる中、延長後半アディショナルタイムに中盤でのルーズボールを流通経済大柏④島谷が市立船橋DFラインの背後にボールを落とし、クリアされたボールを⑲オゲテベが落ち着いてゴール左隅に流し込み、スコアは4-3となり試合終了。両チームの高いフィジカルレベルが際立った激闘は流通経済大柏に軍配が上がり、2年連続の決勝進出を決めた。

記載責任者 所属 (東京学館浦安高等学校) 氏名 (大木 壘)

= Match Report =

第104回 全国高校サッカー選手権大会 千葉県大会 準決勝

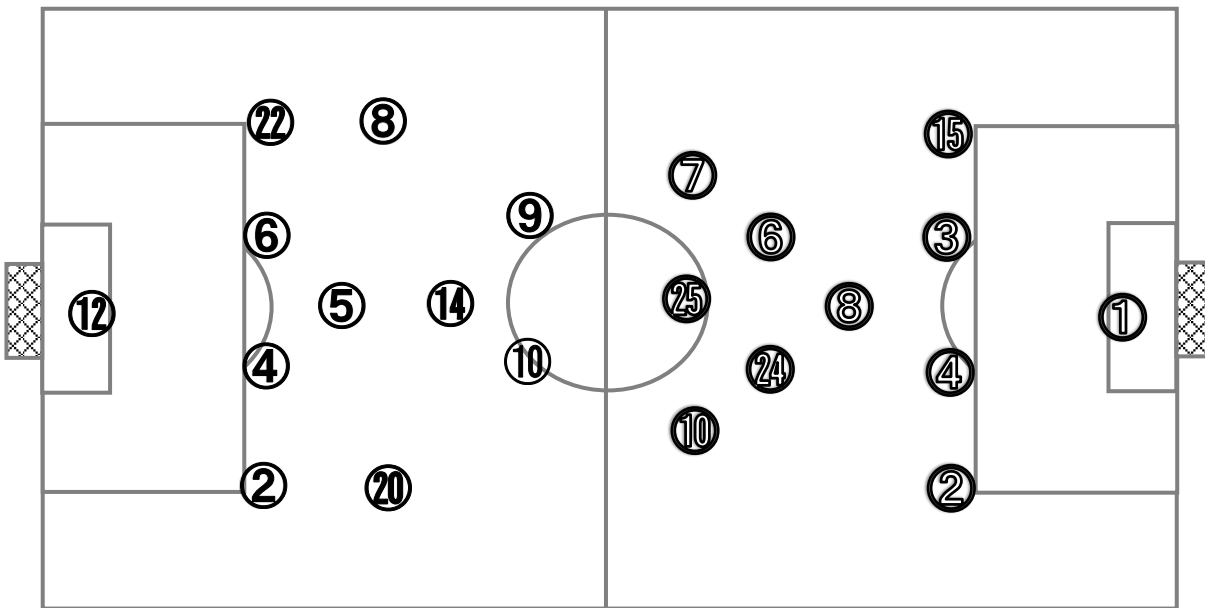
2025年 11月 9日 (日) 13:30 kick off 会場 (柏の葉公園総合競技場)

マッチNo. [M38]

専修大松戸 高校 (千葉県) vs 中央学院 高校 (千葉県)

3 1 - 1
2 - 0
-
-
PK 1

基本システム 1 - 4 - 4 - 2 基本システム 1 - 4 - 1 - 2 - 3



【Match Report】

両者初の決勝進出をかけた一戦は、縦に早い攻撃を仕掛ける専修大松戸に対し、ドリブルやショートパスで攻撃を組み立てる中央学院の互いのカラーが出た好ゲームとなった。

開始早々に得点が動く。3分、中央学院DF②谷口のカットインからDF⑥井戸へ、ヒールパスは1度ブロックされるも跳ね返りを再び⑥井戸が拾い右足を振り抜き幸先よく先制。しかし直後の5分、専修大松戸が左サイドCKから混戦に、最後はMF⑩佐藤が押し込みすぐさま同点としゲームは振り出しに戻る。その後、中央学院は味方同士の距離を近く保つことでドリブルでの突破、スイッチ、オーバーからのゴール前への侵入で相手に脅威を与え続ける。対する専修大松戸は、FW⑨川岸のキープ力を活かし、質の高いロングボールやロングスローを駆使して相手ゴールに迫る。一進一退の攻防が続き前半終了。

後半も同様の展開が続く。中央学院は立ち上がりから立て続けにペナルティエリアに侵入しシュートまで持ち込みゴールを脅かすが、専修大松戸はGK⑫山下を中心とした堅い守備でゴールを割らせない。一方の専修大松戸はセットプレーでチャンスを作る。55分、右サイドのCKからMF⑧岡田のショートコーナーを1枚目がスルー、⑩佐藤のスルーパスに再び⑧岡田が受けてクロス、2度のシュートブロックの後、⑧岡田が左足で蹴り込み逆転に成功。デザインされたセットプレーは非常に効果的であった。同点に追いつきたい中央学院は、小気味良いパスやコンビネーションで攻め込むも崩し切ることができない。一方、後半から存在感を示していた専修大松戸⑩佐藤の個人技からゲームを決定づける追加点が生まれる。後半アディショナルタイム、DF⑫大江のロングフィードに⑩佐藤が素早く反応し反転から中央突破、最後にニアに冷静に流し込み3-1とする。試合はそのままタイムアップを迎え、専修大松戸は初の決勝進出を掴み取った。

記載責任者 所属 (千葉県立関宿高校) 氏名 (谷口 健太)